# はじめに

## 本書の目的

本プロジェクトにおけるAWS上でのシステムアーキテクチャの基本となる考え方、設計方針を示すことを目的とする。

LION様提供の構築ガイドライン、クラウドセキュリティガイドラインに基づき、クラウドの特徴を活かしたスケーラブルで俊敏性が高く障害に強いシステム構築を行えることを第一に考える。

## 対象範囲

本書の対象となるシステムは以下の通り。

* P-ZONE(生活者向けシステム)
* L-ZONE(LION様/CDH向けシステム)
* D-ZONE(歯科医院向けシステム)
* 通知配信基盤(SMS/Email/プッシュ配信)
* オーラル基盤

## 関連資料

本書の前提となる資料、情報元となる資料は以下の通り。

* [非機能要件一覧](https://docs.google.com/spreadsheets/d/1B5z5-YWOrzDnu0gY5AM-_wRCRX9LD9EZ/edit?usp=share_link&ouid=106375452255861814726&rtpof=true&sd=true)
* [構築ガイドライン](https://drive.google.com/file/d/1KaAbHae4c2WQy37im2Ujmpvk_nD-QD8-/view?usp=share_link)
* [クラウドセキュリティガイドライン](https://docs.google.com/document/d/1uHi7mWWJaxotaLL3iJ90vqa7ZCzF9PId/edit?usp=share_link&ouid=106375452255861814726&rtpof=true&sd=true)
* [POHR論理システム構成図](https://app.diagrams.net/#G122z8inmGkVqX_vwh6zkzKVSDbcr20eBX)

# AWS アーキテクチャ共通

## AWS アカウント

本プロジェクトで使用する AWS アカウントは以下の通り。

| AWS アカウント | 対象システム | 実行環境 |
| --- | --- | --- |
| 11111111nnnn | P-ZONE | 本番、ステージング、開発、性能試験 |
| 22222222nnnn | L-ZONE | 本番、ステージング、開発、性能試験 |
| 33333333nnnn | D-ZONE | 本番、ステージング、開発、性能試験 |
| 44444444nnnn | 通知配信基盤 | 本番、ステージング、開発、性能試験 |
| 55555555nnnn | オーラル基盤 | 本番、ステージング、開発、性能試験 |

## 実行環境

本プロジェクトで使用する実行環境を以下の通り定義する。

| 実行環境 | 目的 |
| --- | --- |
| 本番 | 顧客向けサービスを提供する |
| ステージング | 開発済みアプリケーションの動作確認、パッチの事前適用や動作確認、本番環境で発生したトラブルの再現など |
| 開発 | 開発時のアプリケーション、インフラの動作確認 |
| 性能試験 | 性能テスト時のアプリケーション、インフラの動作確認 |

## CIDR

各AWSアカウントに割り当てるCIDRは以下の通り。 POHRデータ基盤のAWSアカウントのCIDRは何？

| AWS アカウント | CIDR |
| --- | --- |
| 11111111nnnn | 10.0.0.0/16 |
| 22222222nnnn | 10.1.0.0/16 |
| 33333333nnnn | 10.2.0.0/16 |
| 44444444nnnn | 10.3.0.0/16 |
| 55555555nnnn | 10.4.0.0/16 |

## AWS アカウント間通信

AWSアカウント間の通信はVPCピアリング接続とする

## リージョン

本プロジェクトでは東京リージョンを使用する。

## DR対応

Ver1ではDR対応は実施しない